

ご担当各位様

2017年 5月 21日

ブリキ玩具製造の終焉と最後の出荷「魔神ガロン」のお知らせ

明治中期より発展してまいりました日本のブリキ玩具生産もいよいよ最終章に入りました。この度2017年4月をもって戦後のブリキ玩具最盛期より多くのブリキ玩具を世に送ってきた「メタルハウス」社が廃業することになりました。この工場は主にロボット玩具を生産する国内で最後のブリキ玩具工場でしたが、スタッフの高齢化と玩具市場の変化により残念ながらついに幕を閉じることになりました。

当大阪ブリキ玩具資料室が1989年に平成の鉄人28号として1960年代のブリキ玩具製作技法を踏襲した復刻玩具を世に出した時、すでにブリキ玩具は玩具業界では主流を外れていました。当時、工場の社長からあと10年もすればブリキ玩具は作れなくなると宣言されていましたが、工場の熱意とブリキ玩具を近代産業遺産として再評価する動きの中でなんとか20余年生産を続けてまいりました。1980年代、日本製ブリキ玩具のコレクションが世界中の愛好家によって盛んになる中、復刻玩具の出現により再びブリキ玩具の生産が軌道にのるようになりました。鉄腕アトムやスターウォーズシリーズなど私どもとメタルハウスが共同開発したブリキ玩具はそのクオリティの高さから世界中のコレクターの飾り棚に収まり、またオークションに出品されてアンティークのブリキ玩具とともに評価されています。

工場の廃業にあたり残存している部品などを整理している時、1989年12月に復刻発売した「魔神ガロン」の半製品が少数見つかри手塚プロダクション様のご好意により最後の日本製ブリキ玩具として出荷できるようになりました。

別紙によるご案内をしていますので御誌紙上でのご紹介をお願い申し上げます。

大阪ブリキ玩具資料室・代表 熊谷信夫